

平成29年度 座間総合高等学校 不祥事ゼロプログラム実施状況

○ 項目・目標別実施結果

項 目	目 標	実施結果と目標の達成状況
法令遵守意識の向上	公務員として倫理意識の向上を図り、公務外非行の未然防止を徹底させる。	繰り返しの研修で、倫理意識は向上している。ただし、引き続きの涵養が必要である。
私費会計の適切な運用	私費会計の適正な取り扱いを図る取り組みを進める。	会計担当者への研修や、チェック表の活用を通し適正な取り扱いとなっている。
体罰、不適切指導の防止	体罰・不適切指導の発生を未然に防止する。	研修で人権意識の涵養を行うとともに、事例研究を行い、発生を未然に防止している。
セクハラ、わいせつ行為の防止	セクハラ・わいせつ行為を未然に防止する。	問題となる行為について繰り返しポイントを押さえて研修し、防止できている。2月には事例をもとにした研修を行った。引き続きの研修が必要である。
成績処理及び進路関係書類の作成及び取扱に係る事故防止	成績処理及び進路関係書類の作成及び取扱に係る事故を未然に防止する。	第1テストから、学習支援グループを中心に校内マニュアルに則り点検体系を機能させて取り組んでいる。キャリア支援グループを中心とした進路関係書類の作成、取扱いの事故防止も機能している。
交通違反・事故、酒酔い・酒気帯び運転防止	交通法規の遵守に努め、交通事故・違反、酒酔い・酒気帯び運転を未然に防止する。	時期を押さえた研修を行うとともに、職員相互の声かけも十分に行われている。
個人情報保護	個人情報の管理に対する意識を高め、個人情報の流出を未然に防止する。	職員全員を対象にした個人情報保護・情報セキュリティについての職場研修を実施し、意識が高まった。11月にはメールアドレスの取扱についての点検を行い、所属教職員全員を対象にした不適切利用や個人情報流失など個人情報管理についての職場研修を実施し徹底を図った。
入学者選抜業務に係る事故防止	入学者選抜に係る事故を未然に防止する。	平成30年1月に入学者選抜に係る個人情報の流出等が起きないように作業手順とチェック体制を点検するとともに、マニュアルに基づいた点検の研修を行い、手順を全職員で共有し入学者選抜に取り組んだ。

○ 平成29年度不祥事ゼロプログラムの達成状況及び平成30年度に取り組むべき課題

(学校長意見)

年度当初に策定したプログラムに沿い、不祥事防止に係る研修、情報共有を繰り返し、定期的に「事故防止アンケート」を実施して現状把握・意識の涵養を図ったことが各項の事故・不祥事の防止につながった。平成30年度は、非常勤職員を含むすべての職員が事故・不祥事防止に係る知識と意識を同じレベルで共有し、不祥事ゼロに取り組むことが課題である。